

# 全国の浜から

第10回

## 「貝殻利用と豊かな海づくり研修会」

今年もJF全漁連主催で「貝殻利用と豊かな海づくり研修会」が開催され、3名の講師による貝殻利用に関する講演が行われました。講演後は参加者と活発な意見交換も行われ、盛況な研修会となりました。

### ①水産ゼロエミッションの方向性について

四條畷学園短期大学・京都大学名誉教授 坂口 守彦氏

・カキ殻の人工魚礁への活用、ホタテ貝殻の道路敷設など、「もったいない」水産の未利用資源の事例や使い方について、詳細にご紹介いただきました。



研修会の様子

### ②新たな漁港漁場整備長期計画について

水産庁漁港漁場整備部計画課・計画官 河野 大輔氏

・平成29年度からの漁港漁場整備長期計画について、分かりやすくご紹介いただきました。その中で、山口県でのキジハタ増殖場が紹介されたほか、宮崎県目井津漁港のJFシェルナースが、漁港水域の有効活用事例として紹介されました。



漁港水域の有効活用事例

(発表資料より抜粋)

### ③山口県におけるキジハタ資源管理への取組について

山口県水産研究センター外海研究部・専門研究員 南部 智秀氏

・主に放流効果の実証と資源管理について紹介されました。その中で、放流手法として幼稚魚保護育成礁や漁港内への放流が紹介され、さらに質疑応答では漁港内放流の条件として、港奥のよどんだ場所が良い（外敵が少なく、餌や隠れ場が豊富なため）との説明がありました。



講演の様子（南部 専門研究員）

## 関連した内容を学会で発表しました！！

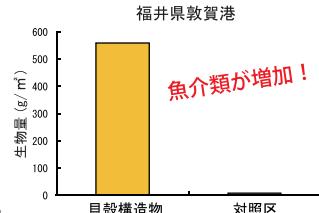
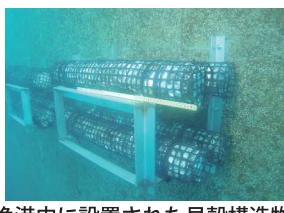
平成29年度日本水産工学会学術講演会

(2017.5.27～5.28)

### 「漁港内水域等に設置した 貝殻構造物による増殖効果」

発表者：伊禮

漁港内水域に貝殻構造物を設置することで、増殖機能が付加・強化された事例を紹介。



漁港内に設置された貝殻構造物

### 「キジハタ幼魚の保護に特化した 保護育成礁の効果についての検証」

発表者：大原

小さな隙間を作ることで、大型魚による食害から守り、キジハタ幼魚を保護できることを紹介。



保護育成礁に隠れるキジハタ幼魚